

# 2019日本パッケージングコンテストで入賞

日本パッケージングコンテストとは、日本の包装分野における最大のコンテストです。

優れたパッケージとその技術開発・普及を目的として毎年開催されています。

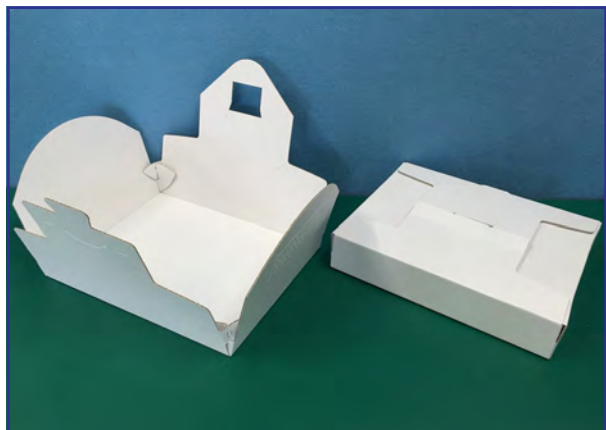
デザインからロジスティクスに至るまでのあらゆる機能から見てすぐれた包装が選定されます。



2019 包装技術賞/包装アイデア賞  
サンスターグループ様と共同出展品

「エコ・クイックボックス」

特許出願中

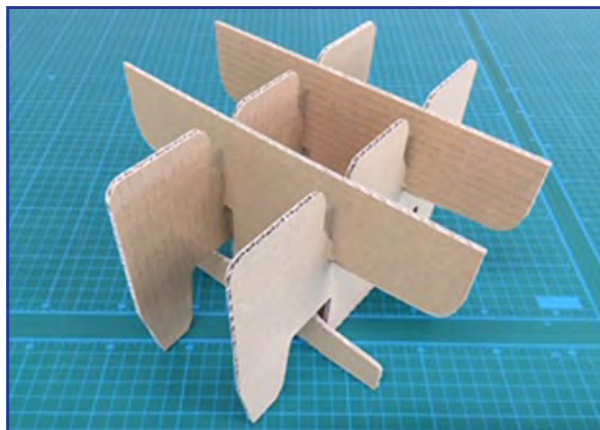


長・短面にあるフラップを双方を突起でつなぎ合わせ側面上部を開き気味にすることで、中身を入れる前の空箱状態で自立でき、かつスタックできる通信販売向けの輸送箱です。包装設計変更と段目を45°傾けることで、従来品に対して材料使用面積の26%削減を図りました。さらに、組立用簡易治具の開発も同時に行い、組立工数の45%削減も図りました。



2019 包装技術賞/ロジスティクス賞

「ビン9本用 簡易組仕切」



1枚の段ボールシートから4本のミシン刃を90°折り込むだけで誰でも簡単に組むことができる仕切りです。中央の柵は底パット機能となり商品が乗るため仕切りが上下方向にズレない構造のため、商品どおしの緩衝防止を図る必要な高さに合わせて設計が可能です。また、シート状で保管ができるため、資材保管スペースの削減を図ります。



2019 包装部門賞/輸送包装部門賞

「エコ・クッション・パッド」

特許出願中



1.8L瓶の底面を守る段ボール製の緩衝材です。

従来の積層段ボール製に対して、作業効率を落とさず材料使用面積32%削減を図りました。生産場所の制約が少なく安定した供給が可能です。